とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和7年11月 26 日(水)
クラス名(年齢)	すみれ組(3歳児)
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

オオクワガタの観察

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

子ども達と9月から育ててきたオオクワガタの幼虫を土から出し、どのくらい大きくなったか見てみる

2、活動スケジュール

オオクワガタをについて絵本を見てから、オオクワガタの幼虫が入っている容器を大きな紙の上に砂ごと出してみる。一回り大きな容器に移し替えてから霧吹きで土に水を掛ける。

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

昆虫絵本　オオクワガタの幼虫　土の入った大きなペットボトル
霧吹き　小さなシャベル

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

昆虫絵本を見て、オオクワガタがどのように大きくなるのか知る。大きな紙を敷いておき、小さなペットボトルの中で育ててきたオオクワガタの幼虫をその上に取り出し、以前との大きさの違いなどを観察してから大きなペットボトルに入れ替えて霧吹きをする。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
小さな容器の中の幼虫を見て「動いてる」「いたいた」と言って様子を見ていた。絵本の中のオオクワガタの幼虫や成虫をみて「かっこいい」「いつ大きくなるの」「はやく大きくならないかな」と思いを馳せていた。紙の上に土ごと幼虫を出すと「あ、いたいた」「大きくなっている」「動いている」と喜んだ。小さなシャベルでそっと幼虫をすくい子ども達全員が見られるようにする。順番に幼虫を近くで見ていくと、「顔はどこなんだろう」「大きくなってる」「ご飯は何食べるんだろう」と言いながら幼虫をのぞき込んでいた。幼虫のご飯が霧吹きで湿らせた土だと知ると、「やりたい」と言いながら張り切って順番に土に霧吹きで水をかけて湿らせていた。	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

卵から出てきたところから育ててきたオオクワガタの幼虫が少しずつ大きくなった姿や幼虫が動いている様子を見ながら成長を楽しんだ。今回は少し大きな容器に入れ替えることで幼虫を直接見る音が出来て子どもたちはとても喜んでいた。これから成虫になるまでみんなで大切に見守って行きたい。